

◆ターゲット・バートゴルフ

1. 概要

合成樹脂の羽根つきボールを、普通のゴルフクラブで打つミニゴルフの一種です。ボールは、バドミントンの羽根をゴルフボールに取りつけたような形状をしています。羽根は飛距離を押さえる働きをし、ピッチングウェッジで打ったとき 18m、ドライバーで打ったとき 30mが標準とされています。ボールを打つ動作は、ゴルフと変わりはありません。ただし、ボールはパラソルを逆さにした形状なので、ボールをフワリと高く打ち上げる技術が要求されます。ボール自体の安全性は高いものの、ゴルフのクラブをフルスイングすることには変わりはないので、その点はゴルフと同じように注意が必要です。

2. 用具

1) ボール

ゴルフボールに、バドミントンの羽根がついたもの

2) クラブ

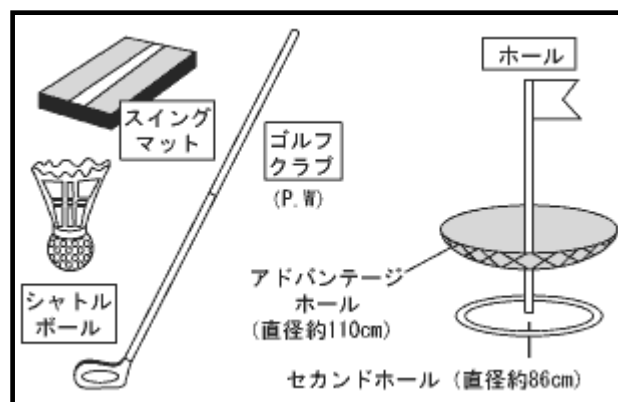
普通のゴルフクラブを使う。

3) スイングマット

ゴルフ用人工マットを使用。

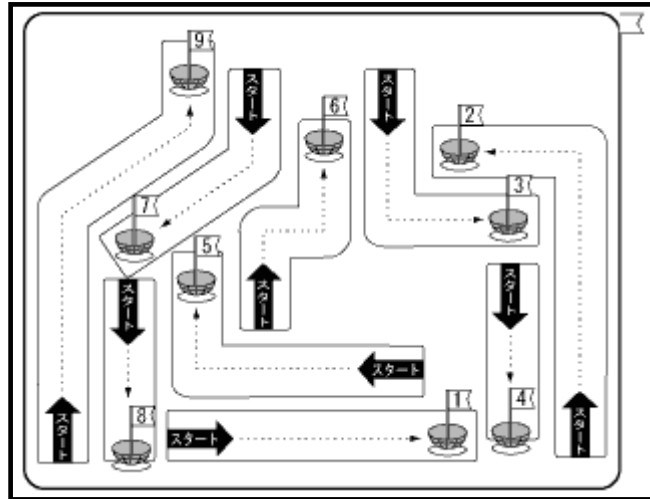
4) ホール

上部ホールをアドバンテージホール、下部ホールをセカンドホールという。前者は傘を逆さに立てた形、後者はフープ（輪）を地面に置いたもの。



3. コース

- ・ショートホール 15～20m（2ヶ所）パー2
- ・ミドルホール 30～40m（5ヶ所）パー3
- ・ロングホール 45～60m（2ヶ所）パー4



4. ルール（コース競技）

- （1）ボールを正しく打とうとしてクラブを振ることをストロークという。
ボールを打つ意志があれば、空振りになっても1ストロークと数える。
- （2）押し出したり、かき寄せたり、すくいあげたときは、反則として2打を付加する。
- （3）1ストローク中に2回以上ボールがあたった時は、1打付加し合計2打として数える。
- （4）コースからボールが出た場合（アウト・オブ・バウンズ：OB）は1打付加し、ホールに近づかないでOBラインよりクラブ1本分の位置に移動させ次のストロークをする。
- （5）セカンドホールに入れた場合は、1打付加しホールアウトとする。
- （6）プレースとリプレース
プレースとはボールを拾い上げて、「別の地点」に置くことをいいペナルティーはない。また、リプレースとは拾い上げたボールを「あった地点」に置き戻すことを言う。
以下の方法に従えば自由にプレース出来る。この際羽根の向きは変えてもかまわない。

A. スイングマットを使用するとき

- ①ボールの真後ろにスイングマットを置く。
- ②ボールを拾い上げる。

③スイングマットの最前方に、ボールを置く。

B. スイングマットを使用しないとき

①マークせずにボールを拾い上げてもかまわないが、拾い上げた後で、位置関係が不明になる恐れがあるときは、マークした方が良い。

②拾い上げたボールが「あった地点」より6インチ（18cm）の範囲内で、しかもホールに近づかない「別の地点」に置くことができる。

5. プレーの進め方

（1）スタート時のティーショット（第1打）の順番は、くじ引き、ジャンケン、コイントス等で決める。

（2）第2打からは、ホールから最も遠いボールから先にプレーする。
（遠球先打）

（3）2ホール目以降のティーショットの順番は、前のホールで最も少ないスコアのプレーヤーから行う。

（4）プレー順を間違えてプレーしても罰はなく、元の位置から打ち直す。